

年 月 日

愛知県肥料高騰対策推進協議会
会長 犬飼 峰宏 殿

所在地
取組実施者名
代表者氏名

令和6年度肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書（秋肥・春肥）

肥料価格高騰対策事業実施要領（令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知）第13の2の規定に基づき、別添のとおり報告する。

添付資料（以下の□にチェックを入れること）

- 肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書（別添）
- 参加農業者名簿（業務方法書様式第6-2号）
- その他、農政局長等が必要と認める書類

秋肥・春肥のいずれかに○を付ける
※各期間別（秋肥と春肥）に報告が必要です。

なお、昨年度、
秋肥において取組実施状況報告書を、
春肥において取組中間報告書を提出いただいた取組実施者におかれては、
今回「春肥」についての取組実施状況報告書の提出が必要となります。

秋肥・春肥のいずれかに○を付ける

別添

参加農業者名簿（業務方法書様式第6-2号）の「取組面積（ha）」の「集計」の値【②】を転記

秋・春肥)

「第3 取組実績」の取組メニューごとの取組面積の合計値とも一致します。【③】

①、②、③の面積は全て同じとなります。【①=②=③】

①

第3 取組実績

取組メニュー	取組の実績
ア 土壌診断による施肥設計	
イ 生育診断による施肥設計	<p>参加農業者ごとに提出された「化学肥料低減計画実施報告書（完了報告）（業務方法書様式第7号）」を踏まえて、取組メニューごとに記載（取組件数、取組面積は必ず記載）</p> <p>（参考）令和6年6月7日付 05 愛知肥料協議会（価）第30号の通知文「令和6年度肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告の提出について」の別紙2（記載例の一例）</p> <p>確認事項 <u>第3に記載する取組メニューごとの取組面積の合計値【③】 =</u> <u>第2に記載する取組面積【①】 =</u> <u>様式第6-2号の取組面積【②】</u> となります。</p>
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入	
エ 堆肥の利用	
オ 汚泥肥料の利用（下水汚泥等）	
カ 食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外）	
キ 有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用	
ク 緑肥作物の利用	
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用	
コ 低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用	
サ 可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。）	
シ 局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用	<p>③ (ア～ソの合計値)</p>
ス 育苗箱（ポット苗）施肥の利用	

セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。）	
ソ 地域特認技術の利用 ()	

(注) 参加農業者が、実施期間を通じてどのような取組を行ったか、また、その結果として、取組前と比べてどの程度の化学肥料の低減が図られたかを、使用記録等を参照し、できる限り定量的に記入してください。

第4 化学肥料の使用量の低減に向けて継続的に取り組むための取組計画

参加農業者ごとに提出された「化学肥料低減計画実施報告書（完了報告）（業務方法書様式第7号）」を踏まえて記載

（参考）令和6年6月7日付 05 愛知肥料協議会（価）第30号の通知文「令和6年度肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告の提出について」の別紙2（記載例の一例）